



# 金沢労働基準協会 令和ゼロ災プロジェクト

昭和48年（1973）にゼロ災害全員参加運動（ゼロ災運動）は、中央労働災害防止協会が、アメリカの全米安全評議会（NSC）の「Zero in on safety」（安全に照準を合わせよ）というキャンペーンの考え方を取り入れ、スタートしました。それから半世紀が過ぎ、多くの会社が創意工夫と弛みない努力で無災害記録を作り続けています。もしも事故が起きたら猛省して、またやり始めるリスタートの勇気が無災害記録をつくりま



### 【ゼロの原則】

死亡災害・休業災害がなければよいというだけではなく、職場や作業に潜むすべての危険を発見・把握・解決し、根底から労働災害をゼロにしてゆきます。

### 【先取りの原則】

究極の目標としてゼロ災害・ゼロ疾病の職場を実現するため、事故・災害が起こる前に、職場や作業にひそむ危険の芽を摘み取り、安全と健康を先取りします。

### 【参加の原則】

職場や作業にひそむ危険を発見・把握・解決するため、全員が一致協力してそれぞれの立場・持ち場で自主的、自発的にヤル気で問題解決行動を実践します。

### 【トップの経営姿勢】

安全衛生は、トップのゼロ災害への思いから始まる。「働く人一人ひとりが大事だ」、「一人もケガ人は出さない」という人間尊重の決意から運動は出発します。

### 【ライン管理の徹底】

安全衛生を推進するには、管理監督者（ライン）が作業の中に安全衛生を一体に組み込んで率先垂範して実践する「ラインによる安全衛生管理」が不可欠です。

### 【職場自主活動の活発化】

一人ひとりが危ないことを危ないと気付き、自主的、自発的にヤル気で安全な行動をするような実践活動が、職場の日々の安全を確保します。



金沢労働基準協会「令和ゼロ災プロジェクト」にご協力ください。

- 【1】安全衛生活動アンケートに回答をお願いします。
- 【2】中小企業無災害記録証授与制度の活用をお願いします。
- 【3】全国安全週間・全国労働衛生週間の行事に取り組みましょう。
- 【4】全国安全週間・全国労働衛生週間の表彰事業場を自薦他薦しましょう。
- 【5】安全衛生出前講座と安全衛生業務担当者研修を受講しましょう。
- 【6】金沢地区の労働災害発生状況の集計分析等の安全衛生情報の提供
- 【7】金沢地区の自主的労働災害防止運動（死亡災害の集計分析からの取組）「4つのないか運動」、「二次健康診断受けよう運動」、「やろまいか救護訓練運動」、「転ばぬ先の健康管理運動」、「熱中症のこと教えよう運動」に取り組みましょう。



# 金沢労働基準協会 令和ゼロ災プロジェクト

## 金沢労働基準協会 令和ゼロ災プロジェクト実施要綱

### 1. 趣 旨

中央労働災害防止協会がゼロ災害全員参加運動（ゼロ災運動）を始めて半世紀が過ぎた令和の時代にも「安全第一」の企業活動による安全職場を実現し、労働災害ゼロを地域ぐるみで実現しようとするものです。

### 2. 安全衛生活動アンケート送付

全国安全週間と全国労働衛生週間などの機会に、各事業場の安全衛生自主活動の実施状況を把握する自主点検表を会員事業場及び協力団体から参加事業場に送付し、集計します。

### 3. 中小企業無災害記録証授与制度の活用促進

まず、毎月の無災害日数を記録することを推奨します。次に、毎月の無災害日数の累計が基準に達したら、協会に「中小企業無災害記録証」授与を申請することを援助します。無災害記録を達成した受賞企業を協会だよりや協会ホームページで紹介しその実績を讃えます。

### 4. 全国安全週間・全国労働衛生週間の取組

全国安全週間と全国労働衛生週間の準備期間中の取組として、会員へのポスター壁新聞の配布、協力団体への中災防用品カタログ配布、事業場への部会委員訪問指導などを行います。

### 5. 全国安全週間・全国労働衛生週間の表彰推薦

安全衛生活動自主点検と事業場訪問指導で確認された安全衛生管理の優良事業場を金沢労働基準協会会長賞、石川県労働基準協会連合会の会長賞に推薦する。

### 6. 安全衛生出前講座と安全衛生業務担当者研修の実施（金沢労働基準監督署との共催事業）

「安全専一百年の軌跡」の講座による安全衛生自主活動の啓蒙と「安全衛生推進者養成講習」、「改正法令説明会」、「テーマ別の労働安全衛生研修会・説明会」により安全衛生法令の基礎知識や最近の情報を学ぶ講習会を開催します。

### 7. 金沢地区の労働災害発生状況の集計分析等の安全衛生情報の提供

金沢労働基準監督署から金沢地区の労働災害発生状況や定期健康診断実施状況の集計分析、などの情報提供を受けて、アンケート結果などとともに安全衛生情報の提供を充実させます。

### 8. 金沢地区の自主的労働災害防止運動の展開

金沢労働基準監督署から金沢地区の労働災害情報提供を受けて、第14次労働災害防止計画の目標達成に必要な労働災害防止運動として「4つのないか運動」、「二次健康診断受けよう運動」、「やろまいか救護訓練運動」、「転ばぬ先の健康管理運動」、「熱中症のこと教えよう運動」を展開します。

### 9. 金沢地区の安全衛生業務担当者のネットワーク構築

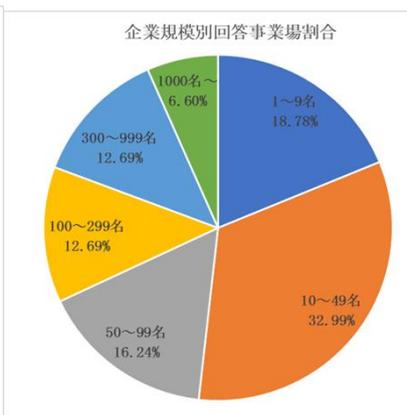
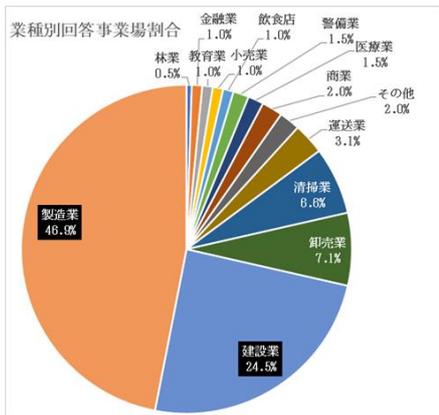
金沢地区の事業場の安全衛生業務の窓口となる担当者のメールアドレスを登録し、これにより、協会から各事業場へ金沢労働基準監督署や石川労働局からの行政情報や中央労働災害防止協会の安全衛生情報、研修会開催案内、web会議開催などの情報を提供します。



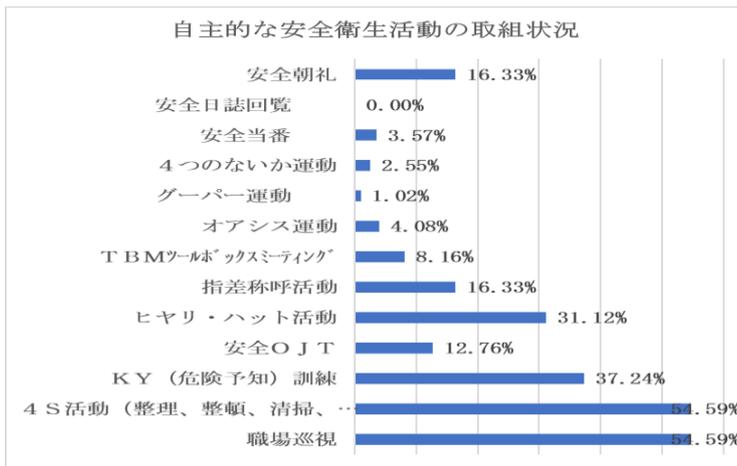
# 金沢労働基準協会 令和ゼロ災プロジェクト

## 安全衛生自主活動のアンケート

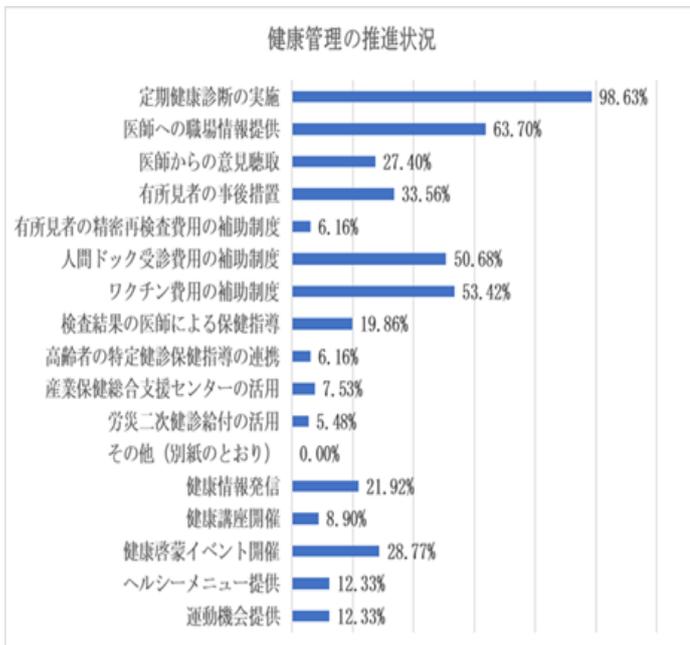
全国安全週間と全国労働衛生週間の事業場の実施事項の実施状況を把握するアンケートを会員事業場と協力団体の傘下事業場においても安全衛生活動の取組状況把握を促進します。令和7年のアンケート結果は協会ホームページに掲載中。( )内は令和3年の数字です。



回答事業場は、業種別に製造業が47%と半分、建設業、運送業、林業合わせて28%と4分の1強を占め、残り商業、サービス業等第三次産業が25%の割合でした。規模別に300人以上の大企業が19.3% (28.0%)であり、10名未満の零細企業が18.8% (14.0%)です。10名以上300名未満の中小企業が61.9% (48.0%)となっています。100人以上31.98% (39.0%)となっています。



全国安全週間での非常災害避難訓練の実施割合は26.02%(48.2%)ですが、全国労働衛生週間での非常災害救護訓練の実施割合は11.73%(14.3%)とその半分です。



人間ドッグやワクチン接種の費用を負担する会社が50%を超えています。健康啓蒙イベントに取り組む会社も5割を超えています。全国安全週間の事業場における実施事項の数は108件、全国労働衛生週間の事業場における実施事項の数は108件です。比較は難しいですが、全国週間実施事項の平均実施事項数を企業規模別にみると、1～9名18.1項目、10～49名32.6項目、50～99名49.5項目、100～299名59.2項目、300～999名70.5項目、1000名以上70.6項目となっています。同じく、事業場規模別にみると、1～9名21.3項目、10～49名35.6項目、50～99名55.0項目、100～299名65.5項目、300～999名68.5項目、1000名以上79.0項目となっています。



# 金沢労働基準協会 令和ゼロ災プロジェクト

## 全国安全週間・全国労働衛生週間の事業場訪問指導

全国安全週間と全国労働衛生週間の週間中に会員事業場と週間協力団体から推薦の優良事業場を安全部会と衛生部会の委員が訪問し、訪問事業場の安全衛生担当者との意見交換の場で、改善できる点を指導します。

【優良活動例】2次健康診断費用の会社負担、作業責任者からのヒヤリハット朝礼報告など

【改善指導例】中二階荷下ろし口の墜落防止対策・安全衛生推進者の選任など

全国安全衛生週間 団体別訪問事業場数	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
野々市市商工会	2社				1社	1社	2社
かほく市商工会		2社		1社	1社		
津幡町商工会	2社		2社	2社	2社	1社	
鶴来商工会					2社	2社	1社
白山商工会議所				1社	1社	1社	1社
美川商工会	2社	1社	2社		2社	2社	2社
金沢商工会議所				2社	4社	4社	4社
西金沢地区工業会					1社		1社
旭丘団地協同組合				1社	2社	1社	
安原工業団地協同組合				1社	5社	2社	1社
金沢労働基準協会ほか	5社	2社	3社	6社		2社	2社
合計	11社	5社	7社	14社	21社	16社	14社



各社とも事業場全般に整理整頓、清掃が行き届いた3S職場でした。工具や治具の整理棚に工夫を凝らした事例がいくつも見受けられました。床面をスイーパーで毎日随時清掃している鋳物工場もありました。工作機械からの金属くず。粉じん、廃油は機械内で処理され、排出される機械も多くなっています。木工機の木くずもダクトと排風機で排出され、木工場なのに木くず一つない工場になっています。物の置き方でいろいろ工夫があるものだと感心する声もありました。5S運動の取組をしているところもありました。工場入り口の「全国安全週間」「全国労働衛生週間」の大きな立て看板で地域にも取り組み広報。



トップの安全衛生に対する意識が高い会社が多かったです。社員の健康管理はそのまま安全運行に直結していることを念頭に、会社トップから管理者及び運転士一人一人に至るまで全社一丸で取り組んでいることがひしひしと感じられました。階段ステップに一步ずつのカロリー表示。



# 金沢労働基準協会 令和ゼロ災プロジェクト

## 全国安全週間・全国労働衛生週間の表彰

安全衛生活動自主点検と事業場訪問指導で確認された安全衛生管理の優良事業場を金沢労働基準協会会長賞として表彰し、石川県労働基準協会連合会の会長賞に推薦しています。

令和7年度の受賞事業場、受賞者は、次のとおりです。

安全優良事業場賞	サンヨー精密株式会社、北陸環境衛生株式会社、株式会社村上電装 有限会社深谷自動車商会、有限会社ミカド工業、米澤鐵工所 有限会社石立鉄工所
安全個人功労賞	石原英行（津田駒工業(株)松任工場）結城輔（(株)鶴来電気商会） 河原直樹（河原建具店）中田 翔太（(株)中田エンジン）
衛生優良事業場賞	株式会社共栄、(医法) 斉藤小児科医院、酒井工業株式会社 シシクアドクライス(株)坂戸工場、日本鏡板工業株式会社 北陸工場 ほっともっと金沢東力町店、株式会社山田組
衛生個人功績賞	松村昌英（株式会社建築昌英）吉田佳祐（有限会社吉田屋） 戸口修一（戸口電設株式会社）
衛生優良団体賞	一般社団法人石川県ビルメンテナンス協会
優良個人事業者賞	甘池広市（甘池タイル）西田恭二（interior Nishita） 谷内田祥一（インテリアヤチダ）米林孝直（米林内装）
個人事業者優良団体賞	中橋タイル株式会社

昭和28年以降の年別受賞者数（全国安全週間表彰及び全国労働衛生週間表彰）

昭和時代	年	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45
	数	10	8	19	17	13	20	11	1				6	7	18	19	18	34	25
平成時代	年	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63
	数	23	15	21	19	13	15	16	12	14	12	20	16	20	20	18	15	9	13
令和時代	年	元	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18
	数	17	14	13	13	14	11	11	1	2	2	2		3	3	7	8	6	5
														総計 981名 (社.人)					
														昭和 517名 (社.人)					
														平成 363名 (社.人)					
														令和 128名 (社.人)					

### 近年の安全衛生優良団体賞受賞団体

平成20年	荏原商事(株)北陸地区安全衛生協力会	平成21年	酒井工業(株)労務安全協議会
平成24年	DIC 北陸工場協力会社安全連絡会	平成24年	アレンジ・グレートグループ安全衛生委員会
平成25年	ワイズグループ安全衛生委員会	平成28年	米澤電気工事(株)協力会
平成29年	豊倉組労災互助会	平成30年	第一電気工業協力会
令和4年	北陸電工安全衛生協議会金沢支部	令和5年	清水建設北陸支店取引業者災害防止協議会
令和6年	中日本ハイウェイメンテナンス北陸安全衛生推進会	令和7年	一般社団法人石川県ビルメンテナンス協会



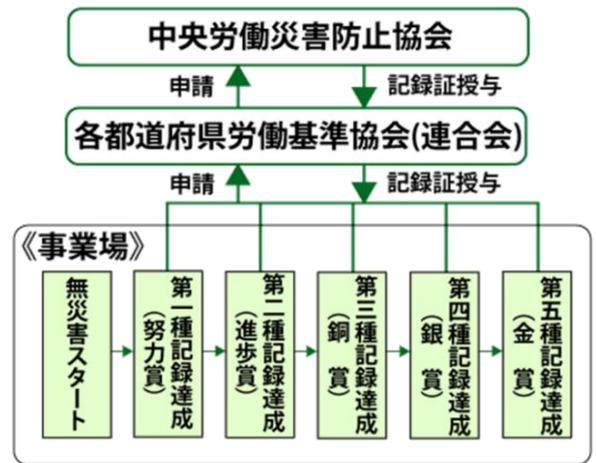
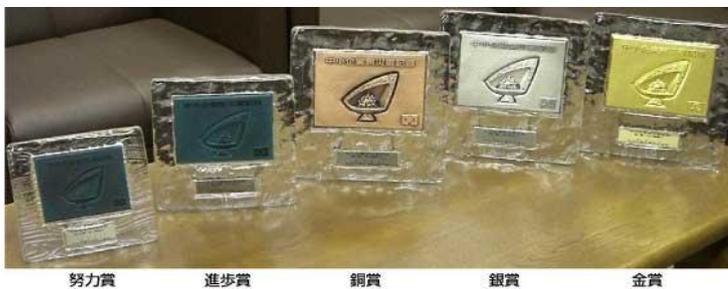
# 金沢労働基準協会 令和ゼロ災プロジェクト

## 中災防の中小企業無災害記録証授与制度の活用

**表彰の対象となる事業場**は、資本の額又は出資の額の総額が1億円以下又は常時使用される労働者数が300人以下の中小企業であり、労働者が10人以上100人未満の事業場です。

**記録の申請の仕方は、** (Excel) 無災害記録を記載した申請書を作成し、各都道府県労働基準協会を経て申請します。現在達成している最上位の種別の記録証について申請するものとします。過去にさかのぼって複数の種別の申請をすることはできません(例:3種の申請の際に1種や2種も申請するなど)。

**記録証の授与** 申請内容が規程に合致した事業場には、**中** 小企業無災害記録証と副賞(表彰楯)が授与されます。



### 受賞事業場一覧

受賞事業場名授与年月達成記録	受賞事業場名授与年月達成記録
かがつう(株) 金沢工場 令和2年11月第一種 800日	(株)金太 旭丘鉄鋼基地 令和3年9月第一種 1500日
サンコー企画(株) 令和3年10月第一種 1000日	(株)キョー・エイ 令和3年12月第一種 1100日
太谷(株) 令和3年12月第二種 3000日	河北郡衛生(株) 令和3年12月第二種 2200日
金沢総合花き(株) 令和3年12月第四種 6750日	ユーエスカートン(株) 令和4年1月第三種 3000日
(株)環境公害研究センター 令和4年1月第二種 2200日	暁化学工業(株) 令和4年3月第三種 1500日
(株)タニムラ 令和4年5月第三種 1950日	北陸エコー販売(株) 令和4年5月第三種 4500日
中川製紙(株) 令和4年9月第一種 550日	(株)レンタコム・エイシー 令和4年12月第一種 1500日
ツダコマ・ゼネラル・サービス(株) 令和4年12月第三種 1,500日	ツダコマテクノサポート(株) 令和4年12月第三種 3,450日
(株)大晃重設 令和5年1月第一種 1500日	かがつう(株) 金沢工場 令和5年2月第一種 800日
辰巳建設(株) 令和5年2月第三種 3300日	(株)大和印刷社 令和5年2月第二種 2000日
オカダ合金(株) 令和5年2月第一種 800日	株式会社中村ポンプ 令和5年2月第一種 800日
田中昭栄堂印刷(株) 令和5年9月第五種 5100日	北鉄白山バス(株) 令和5年10月第五種 3750日
(株)東陽技研 令和5年12月第五種 4750日	(株)みづほ室内工業 令和6年1月第二種 2200日
(株)旭ウエルテック 令和6年2月第一種 500日	(有)谷口鋳金工業 令和6年3月第二種 1400日
(株)イコマ・メカニカル 令和6年5月第二種 1000日	(株)令和西日本新幹線テクノス白山事業部 令和6年6月第三種 2250日
サンユー精密株式会社 令和4年8月第五種 3500日	北陸環境衛生株式会社 令和6年2月第五種 6450日
北陸エコー販売(株) 令和4年9月第四種 6750日	ほっともっと金沢東力店 令和5年1月第一種 1500日
株式会社共栄 令和5年2月第一種 1500日	日本鏡板工業(株)北陸工場 令和7年1月第一種 950日
株式会社尾山製作所宮永工場 令和6年5月第一種 950日	



# 金沢労働基準協会 令和ゼロ災プロジェクト

## 安全衛生出前講座 「安全専一百年の軌跡」

「安全専一百年の軌跡」安全衛生自主活動の意味を産業発展 100 年の歴史から説明します。

**産業安全衛生運動百年の軌跡** 古河鋳業の足尾鋳業所に掲げられた安全専一の標語

**安全+第一** Safety Firstの方針が実行されると、労働災害はたちまち減少した。品質・生産も上向いた。このSafety First安全第一という標語は、米田鉄鋼産業をあげての一大運動へ発展し、アメリカ全土に広まった。

ハイブリッド「129300の原則」 1929昭和4年 アメリカ

産業安全運動百年の軌跡 運動進展と停滞の時代（昭和戦前）

**安全衛生出前講座**

会場  
令和 年 月  
(一社)金沢労働基準協会

「安全専一」標語  
小田川金之  
（おだがわ きんすけ）

「安全専一」標語は、足尾鋳業で作りだされた。

ハイブリッドは、災害防止に関するアメリカの先覚者で、「129300の原則」等の提唱者。（1929年）  
災害の発生に不安定な状態や不安全な行動が原因にあるという考えが、今でも活かされている。ヒヤリハット

1929の重要労働災害発生数  
29  
2000の労働災害発生数  
300  
30000の労働災害発生数

が昭和7年11月21日から3日間、東京・神田の学士会館で開かれ、会場は300人を超える人たちであふれた。

安全第一の掛け声から始まった「労働災害防止自主活動の百年の歴史」を説明します。安全衛生の先達は、「指差称呼」、「整理整頓」、「ヒヤリハット」、「危険予知活動KYT」など創意工夫で労働災害の防止活動に取り組み、災害の減少を実現してきました。

**産業安全活動の進展 1970年代 危険予知訓練KYT活動**  
1973年、欧米安全衛生視察団 住友金属工業和歌山製鉄所の 労務部長はベルギーのソルベイ社の交通安全教育シートに目をこめ、危険を自ら危険と感じることにより、各自安全行動に努めるようになると考え、社内プロジェクトチームを結成。その成果としてKYTが誕生。

**産業安全運動百年の軌跡 1970年代 4S(整理・整頓・清掃・清濁)運動**  
昭和30年代に「ジャスト・イン・タイム」検討中に出できたらしい。  
日本能率協会の新橋重夫先生がトヨタを指導したころに促されたらしい。  
昔からの「整理・整頓」という言葉に清濁を加え、「3S」となり、70年代には、清濁を加えて4Sと呼んできたらしい。

**産業安全運動百年の軌跡 1970年代 村口安全委員会参加運動**  
1973年にゼロ災害全員参加運動(ゼロ災害運動)は、中央労働災害防止協会が、アメリカの全米安全評議会(NSC)の「Zero in on safety」(安全に照準を合わせよう)というキャンペーンの考え方を取り入れ、スタートしました。

Safety 2.0時代の現場 (むが可能なとした本質制御による高度な列車制御)

金沢労働基準協会 安全衛生出前講座 「産業安全衛生活動百年の軌跡」  
産業安全衛生運動百年は、ほんとかしなびきやを乗り越えてきた歴史です。安全第一を再認識しよう

金沢労働基準協会では、事業場の安全衛生活動についてより理解を深めていただくため、「労働災害防止活動の百年の歴史」を説明する「安全衛生出前講座」を始めることにしました。

これまでの利用団体

開催日時	講演内容	開催団体	開催場所
令和2年 10月23日	産業安全衛生百年の軌跡	北陸電気工事(株)安全衛生協議会金沢支部 2020年度事業主研修会事業主研修	KKRホテル金沢 金沢市大手町2-32
令和3年 10月8日	産業安全衛生百年の軌跡	安全部会衛生部会委員 安衛週間支援団体協力員合同研修会	石川県地場産業振興センター本館 金沢市鞍月2丁目1
令和3年 10月22日	産業安全衛生百年の軌跡	中日本ハイウェイメンテナンス北陸(株)2021 北陸地区高速道路防災協議会総会	石川県いしかわ総合スポーツセンター 石川県金沢市稚日野町北222
令和3年 10月14日	産業安全衛生百年の軌跡	セコム(株)テクノ事業本部北陸支店 2021年度安全衛生大会	セコム北陸金沢ビル 金沢市北安江2丁目15-10
令和4年 1月18日	産業安全衛生百年の軌跡	第一電機工業(株)安全協力会 事業主並びに現場代理人・職長研修会	金沢市異業種研修会館 金沢市打木町東1400
令和4年 6月21日	産業安全衛生百年の軌跡	大三建設(株) 全国安全週間行事 社員教育	大三建設(株) 金沢市三口町火250番地
令和5年 10月13日	第14次労働災害防止計画	セコム(株)テクノ事業本部北陸支店 2023年度安全衛生大会	セコム北陸金沢ビル 金沢市北安江2丁目15-10
令和5年 11月27日	産業安全衛生百年の軌跡	関西北陸しろあり対策協会 2023年度研修会 安全大会	金沢勤労者プラザ 金沢市北安江3丁目2-20
令和7年 9月26日	足場の歴史(法規制史)	酒井工業(株)店社安全大会	石川県地場産業振興センター新館 金沢市鞍月2丁目1

一般社団法人  
金沢労働基準協会

FAX076-224-2554 TEL 076-232-2976

〒920-0031 石川県金沢市広岡2丁目13番23号 AGSビル301号

営業時間 9:00~17:00 定休日 土曜・日曜・祝日

一般社団法人金沢労働基準協会は、労働保険事務組合や各種講習を通じて職場の環境づくりを応援します。



# 金沢労働基準協会 令和ゼロ災プロジェクト

## 安全衛生労務担当者への情報と学習機会の提供

- 新規安全衛生業務担当者研修として「安全衛生推進者養成講習」の受講勧奨  
安全衛生業務担当者が、安全衛生法令の基礎知識を学ぶ講習会として、「安全衛生推進者養成講習」を推奨しています。テキストも講義内容も全般的な安全衛生を学ぶ機会として最適。

実施年	平成 23年	平成 24年	平成 25年	平成 26年	平成 27年	平成 28年	平成 29年	平成 30年	令和 元年	令和 2年	令和 3年	令和 4年	令和 5年	令和 6年	令和 7年
安全衛生 推進者受 講者数	1回 78 名	1回 80 名	1回 78 名	1回 95 名	1回 98 名	1回 88 名	1回 98 名	1回 98 名	2回 126 名	2回 109 名	2回 122 名	3回 88 名	3回 79 名	2回 89 名	2回 123 名
衛生推進 者受講者 数	1回 53 名	1回 99 名	2回 132 名	2回 109 名	2回 147 名	2回 110 名	2回 134 名	2回 153 名	2回 123 名	2回 110 名	2回 126 名	2回 114 名	2回 49 名	2回 83 名	2回 63 名

## 金沢地区の労働災害等の安全衛生情報の提供

- イ) 「労働災害の現況」(金沢署管内の労働災害集計分析) 令和2年から毎年各年の金沢地区労働災害の集計「労働災害の現況」をリーフレット配布
- ロ) 「安全衛生壁新聞」
  - 令和4年度全国安全週間向け「転倒災害防止」特集
  - 令和4年度全国労働衛生週間向け「定期健康診断と健康職場率」特集
  - 令和5年度全国安全週間向け「四つのないか運動」特集
  - 令和5年度全国労働衛生週間向け「二次健康診断受けよう運動」特集
  - 令和6年度全国労働衛生週間向け「やろまいか救護訓練運動」特集
  - 令和7年度全国労働衛生週間向け「熱中症のことを教えよう」特集
- ハ) 「定期健康診断結果集計」(金沢署管内の定期健康診断結果報告の集計) 令和3年以降毎年メタボ有所見者と健康職場率特集 安全衛生壁新聞(令和5年5月号)
- ニ) 「死亡災害発生状況の分析」 安全衛生壁新聞(令和6年5月号)  
第14次労働災害防止計画向け、過去20年間の死亡災害発生状況の集計分析
- ホ) 「北陸三県の労働災害発生状況の推移」(石川、富山、福井の労働災害集計)  
平成20年から令和6年までの石川県、富山県、福井県の労働災害発生件数の年別推移
- ヘ) 「石川県産業安全衛生大会展示コーナー展示物紹介」(令和ゼロ災プロジェクト関連)
  - ① ストップ!熱中症「サーモバリア・スカイ工法」(株)レンタコム・エイシー
  - ② 対切傷用手袋各種 ミドリ安全(株)

一般社団法人

金沢労働基準協会

FAX076-224-2554

TEL 076-232-2976

〒920-0031 石川県金沢市広岡2丁目13番23号 AGSビル301号

営業時間 9:00~17:00 定休日 土曜・日曜・祝日

一般社団法人金沢労働基準協会は、労働保険事務組合や各種講習を通じて職場の環境づくりを応援します。



# 金沢労働基準協会 令和ゼロ災プロジェクト

## 金沢労働基準監督署との共催研修事業

### 基本的な実施方法

講師は、金沢労働基準監督署から派遣の担当官、テキストは、金沢労働基準監督署から提供  
 受講料は、無料 会場は、金沢労働基準協会が用意  
 受講者募集は、会員へは協会が開催案内通知、非会員にはホームページで公募  
 講習内容は、各講習会で配布する受講者アンケートで希望の多い労務安全衛生実務

### 1. 労務管理担当者研修事業

- 「労働基準法実務基礎研修」 令和8年5月13日(水)13:30～15:45  
 毎年4月～5月開催 石川県地場産業振興センター  
 テキストは、金沢労働基準監督署から提供の「労働基準法のポイント」  
 質疑応答集、講習満足度アンケート、次回講習内容の希望アンケート
- 「就業規則作成変更実務基礎研修」 令和7年11月12日(水)13:30～15:45  
 前回アンケートで希望の多かった講習 石川県地場産業振興センター  
 テキストは、金沢労働基準監督署から提供の「就業規則のポイント」、「モデル就業規則(抄)」  
 質疑応答集、講習満足度アンケート、次回講習内容の希望アンケート
- 「労働保険実務基礎研修」 令和6年11月27日(水)  
 前回アンケートで希望の多かった講習 石川県地場産業振興センター  
 テキストは、厚生労働省の各種労働保険パンフレットとパワーポイント資料  
 質疑応答集、講習満足度アンケート、次回講習内容の希望アンケート

### 2. 安全衛生担当者研修事業

- 「令和4年度改正法令説明会」 令和5年2月21日(火)13:30～15:45  
 「令和5年度改正法令説明会」 令和6年2月20日(火)13:30～15:45  
 「令和6年度改正法令説明会」 令和7年2月20日(木)13:30～15:45  
 「令和7年度改正法令説明会」 令和8年2月20日(木)13:30～15:45  
 毎年2月に開催 石川県地場産業振興センター  
 テキストは、金沢労働基準監督署から提供の各種改正リーフレット
- 「第14次労働災害防止計画説明会」 令和5年11月8日(水)13:30～15:45  
 前回アンケートで希望の多かった講習 石川県地場産業振興センター  
 テキストは、金沢労働基準監督署から提供の各種改正リーフレット

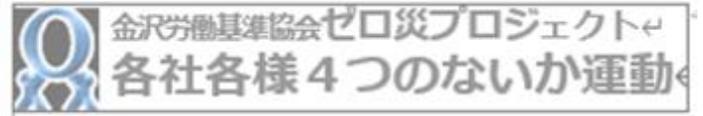


# 金沢労働基準協会 令和ゼロ災プロジェクト

## 金沢地区の自主的安全衛生活動労働防止運動の展開

### 「4つのないか運動」

金沢地区の死亡労働災害の集計分析の結果、会社で決めたリスク低減策が現場で実施されていない事故があり、災害防止対策を現場で作業員が最後の最後に作業前に確認する手法「4つのないか運動」を推進しています。



清水建設北陸支店の重量物取扱4つのないか

建築現場で扱う様々な重量物は、置いた重量物の安定が大切です。この4つのないか運動は、ここから始まりました。

- 置いた物が不安定な置き方で「落ちないか」
- 崩れないように縛ったロープが「切れないか」
- 置いた物がデコボコで不安定「動かないか」
- 置いた場所が正確で無いで「倒れないか」

中村留精密工業線の機械工場の4つのないか

動く機械と重い部品取扱いの注意に万全を尽くすことが大切です。

- 試験停止中の機械が起動して「動かないか」
- 棚や搬送中の部品が不安定で「落ちないか」
- 可動機械の周りの人が誤って「入らないか」
- 壁に立てかけた部品やワークが「倒れないか」

### 4つのないかを現場に掲示します。

例えば、(株)PFUさんの実験室では使用する検査機器資材などはその日の業務によって異なりますから、片付けて取り出して使います。ですから棚の落下防止や電源ケーブル防護の措置を講じることにしていますが、作業員が今の状況で「落ちないか」「倒れないか」「つまづかないか」「放置してないか」と日々確認することが必要です。

**(株)PFUの実験室・オフィスの4つのないか**  
 実験室・オフィスにも工具や装置や製品や材料が数多くあります。  
 落下防止ベルトを使っていない棚から物が「落ちないか」  
 平置きせずに、壁に立てかけた物が「倒れないか」  
 ケーブルカバーのない床の電源ケーブルに「つまづかないか」  
 終業時に片付け忘れのままの工具を「放置してないか」



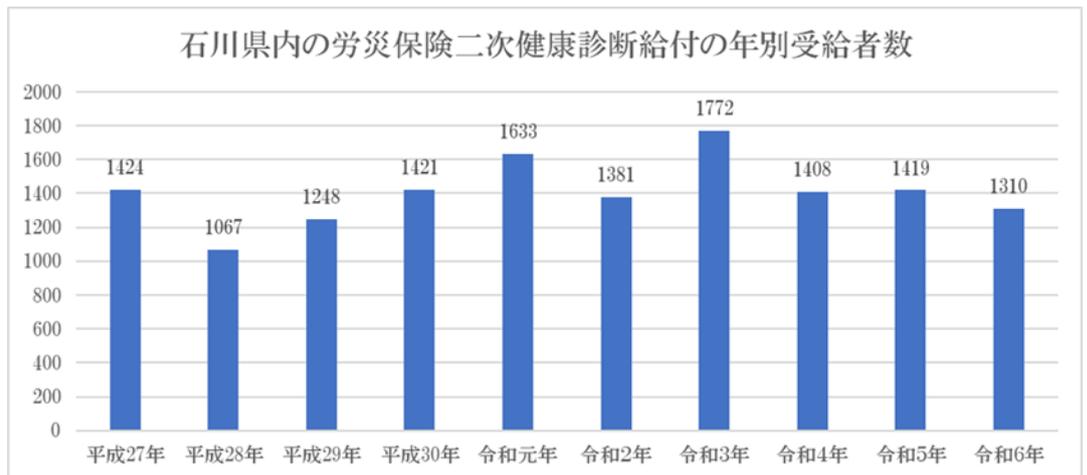
- 1) 棚から装置や物の落下防止ベルト対策を講じているが、
- 2) 物を立掛けて倒れないように平置き対策を講じているが、
- 3) 床の電源ケーブルでつまづかないようにケーブルカバー対策を講じているが、
- 4) 工具類を放置しないよう終業時片付け対策を講じているが、

リスク	リスク低減策	残留リスク	4つのないか
棚に置いた検査装置や器具が落下する	棚に落下防止のベルトを取り付ける	装置の出し入れが多くベルトを外したままにする	現状で物品が落ちないか
壁に立てかけた資材が倒れてくる	資材は壁に立てかけず平置きする	作業の段取りが悪く、作業場所に平置きできず壁に立てかける	立てかけた物が倒れないか
実験ごとに配置される装置の電源ケーブルにつまづく	電源ケーブルにつまづき防止のケーブルカバーを設ける	装置の移動が多く、作業場所に平置きできず壁に立てかける	そのケーブルにつまづかないか
実験ごとに使用した器具工具が散乱して足をとられる	器具類が散乱しないよう終業時に片付け対策を講じる	終業時に片付けず散乱したままの工具につまづく	現状で工具を放置してないか

### 「二次健康診断受けよう運動」

定期健康診断の有所見率は、金沢地区平均で 55.5%です。健康診断の異常所見から再検査や要精密検査の診断には、ちゃんとその検査を受けること、それを会社が支援することが大切です。

労災保険の災害予防のための国の事業である二次健康診断等給付（メタボ健診）をもっと活用して、健康職場を実現しようという運動を令和5年から始めました。





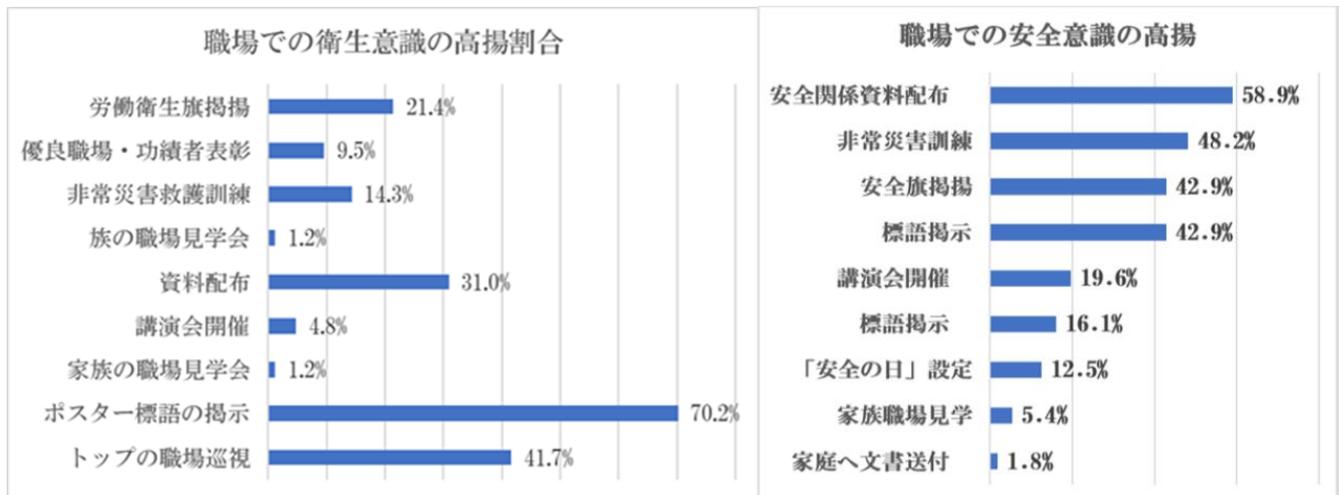
# 金沢労働基準協会 令和ゼロ災プロジェクト

## 金沢地区の自主的安全衛生活動労働防止運動の展開

### 「やろまいか救護訓練運動」

また、職場に多くなった有所見者が仕事中に意識を失い倒れるということがいつでもありうるようになってきました。職場の人がAEDを使って適切な救護を行い医療機関につなげることが大事になってきました。全国安全週間の実施事項に非常災害に備えた避難訓練があり、当協会のアンケートでの避難訓練の実施率は48.2%です。全国労働衛生週間の実施事項に非常災害に備えた救護訓練があり、当協会のアンケートでの救護訓練の実施率は14.3%です。

この職場での救護訓練実施率を引き上げて、万が一の救急自体に対応できる健康職場を実現しようという運動を令和6年から始めました。



### 「転ばぬ先の健康管理運動」

石川産業保健総合支援センターでは、令和3年度に「高齢労働者の安心・安全に働く職場づくりに関する調査研究」において、高齢労働者の体力測定を実施しましたが、**体力測定の実測値と労働者自身の身体への認識の乖離**が見られ、転倒災害等を防止するには、労働者が適切な自己認識を持てるよう保健指導・運動指導などの実施が望まれるとした結果を得ました。

センターが行う支援では、専門スタッフ（理学療法士等）が支援希望企業を訪問し、支援の方向性を決め、労働者に対する体力測定とその結果を踏まえた保健指導・運動指導などを実施します。

#### < 個別訪問支援のイメージ >

- 【対象企業】労働者の転倒・腰痛予防対策（行動災害防止対策）に前向きに取り組みたい企業
- 【企業の申込】（業種規模は問いません）
- 【問診と体力測定】問診等による心身両面の健康状況の把握と体力測定（バランス能力・敏捷性など）
- 【結果に基づく運動指導など】センターの専門スタッフが保健指導・運動指導を実施
- 【各労働者が指導を元に運動を実施】
- 【指導後の現状把握】問診等と体力測定を、再度行い、効果を認識する。（結果については、参加労働者へお知らせします。）
- 【申込先】独立行政法人 労働者健康安全機構 石川産業保健総合支援センター  
〒920-0024 金沢市西念1-1-3 コンフィデンス金沢 8F 電話:076-265-3888





# 金沢労働基準協会 令和ゼロ災プロジェクト

## 金沢労働基準協会会員募集と事業支援のお願い

事業者 殿

〒920-0031 金沢市広岡 2-13-23 A G Sビル 3階  
TEL 232-2976 FAX 224-2554  
一般社団法人 金沢労働基準協会  
会長 米澤卓也

### 一般社団法人金沢労働基準協会加入と支援のお願いについて

一般社団法人金沢労働基準協会は、金沢労働基準監督署管内(金沢市、白山市、野々市市、かほく市、河北郡)の労働者を使用する事業者を会員として、金沢労働基準監督署と常時密接な連携を保ちつつ、労働基準法、労働安全衛生法、労働者災害補償保険法など労働関係法令の周知啓蒙その他労働条件の維持向上を図るための諸事業を行い、もって地域の労働者の福祉を増進し、産業の発展に寄与することを目的としています。

当協会は、令和時代となり、これまで達成できなかったことのない金沢地区における死亡労働災害ゼロを目指す、「令和ゼロ災プロジェクト」の事業と金沢労働基準監督署と共催で労働法令周知の研修事業をはじめました。

これらは、公益事業として会員企業の支援で行っている事業ですが、会員企業は年々減少を続けており、新たな会員企業による事業継続のための支援協力が不可欠となってまいりました。

つきましては、何卒この趣旨にご賛同下さいまして当協会に加入して支援いただくことをお願いする次第です。(加入につきましては、◇金沢労働基準協会への加入手続き参照)

### ◇ 一般社団法人金沢労働基準協会の事業概要

- (1) 労働基準法、労働安全衛生法、最低賃金法など労働関係法令の周知啓もう事業
- (2) 安全衛生推進者、衛生推進者の養成講習など法令資格講習の開催事業
- (3) 労働保険事務組合事業と建設業一人親方の労災保険特別加入制度事業
- (4) 労働安全・衛生に関する管理優良事業場並びに個人功労者の表彰事業

### ◇ 令和ゼロ災プロジェクト事業

### ◇ 金沢労働基準監督署との共催研修事業

### ◇ 金沢労働基準協会への加入手続きについて

次の加入申込書を提出していただき、年会費をお支払いください。

理事会の承認を経て会員となりますが、会誌の送付などは入会申込会費納入後から開始します。年会費は5月1日から翌年4月30日の事業年度に対するお支払ですので、この年度内の退会には返金しかねます。

### ◇ 会費(年額)基準表

会費は原則として会員事業所の従業員数に応じ年額下表によりますが、中小企業団体の一括団体加入の場合は別個相談に応じます。

級別	従業員数	年額会費
1	1~19人	3,000円
2	20~29人	5,500円
3	30~49人	7,000円
4	50~99人	8,000円
5	100~149人	13,000円
6	150~199人	16,000円
7	200~299人	20,000円
8	300~399人	23,000円
9	400~499人	29,000円
10	500~699人	33,000円
11	700~999人	36,000円
12	1,000~1,099人	39,000円
13	1,100~1,499人	65,000円
1,500人以上の場合、100人増す毎		に5,000円を加算する